

能登半島地震で被災した児童生徒の学びを支援

学習支援システム「インタラクティブスタディ」を提供

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災した児童生徒の学びと教育を止めないために、つくば市の要請により、弊社「インタラクティブスタディ」を提供することといたしましたので、ご案内します。

「インタラクティブスタディ」は、公教育向け教材コンテンツとして、全国公立校約4,000校に導入実績があり、筑波大学の中山教授監修のもと、筑波大学と共同開発し、ニュービジネス大賞を受賞した『スーパーCAI』が母体となっています。

《ご提供する学習支援システムの内容》

- ① 自分のペースで学びを継続できる、個別最適化学習支援システム「インタラクティブスタディ」を無償提供します。小学1年生から中学3年生まで主要5教科の学びをWEB上で行うことができます。
- ② タブレット・パソコン・スマートフォンなどで学習可能です。
- ③ 学習システムが提示した問題に対し、生徒一人ひとりの間違え方に合わせ、間違えた原因にさかのぼって、基礎・基本の考え方から自分の間違え方を気づかせる教材です。
- ④ 新学習指導要領に対応した教材で、学習項目は1600項目以上、問題数で6万題を超えるラインナップとなっています。

以上

本件に関するお問い合わせ先

(株) 進学会HD 代表取締役 平井 将浩

(株) 進学会 オンライン本部長 松田 修平

TEL 011-863-5557

※社名の記載についてのお願い（北海道各社様）

弊社は持株会社である株式会社「進学会ホールディングス」ではありますが、その一方で、北海道においては「北大学力増進会」というブランド名称で学習塾を展開しております。北海道のお客様にとっては後者の名称の方が馴染み深く、認知度が高いと考えております。

つきましては、御社の記事において弊社の社名を記載する際は、購読者の方への混乱を避けるためにも、以下のような記載にて頂ければと思います。

「学習塾の北大学力増進会を運営する株式会社進学会ホールディングスは～」

以上、よろしくお願い申し上げます。